

こども農学校 20周年を迎えて

～愛知東農業協同組合～

新城設楽農林水産事務所

愛知東農業協同組合（以下、J A愛知東）は、食農教育として、次代を担う子どもたちとともに、ふるさと奥三河の自然に触れながら農業の大切さ、食べ物の大切さを学ぶ事を目的に、2005年度から小学3年生～6年生を対象とし、「こども農学校」を開校しています。

昨年、開校20周年を迎えたこの取組を紹介します。

1 卒業生は20年間で延べ1,300名

J A愛知東管内の小学校は、4市町村で19校ありますが、こども農学校の定員は60名／年です。児童の募集は、地域の学校教育との連携を重視し小学校長会への説明から始まります。

2005年度から2024年度までの間、延べ1,316名の児童が「こども農学校」を卒業しました。中には4年間継続して参加した児童も70名ほどいました。

2 J A愛知東の食農教育として位置づけ

「こども農学校」は、J A愛知東の職員約20名が運営し、採用2年目の職員が担任、地元の農業関係高校である県立有教館高等学校の生徒が副担任となり、地域の農業の輪が広がるよう工夫がなされています。

また、こども農学校の運営・児童への指導・保護者との調整・地域協力者との連携調整など責任を持って執り行うことで、採用間もない職員の資質向上を図っており、J A愛知東の職員教育の一環にもなっています。

3 今後の取組と組合員との関係性

2025年度「こども農学校」は管内11小学校から57名の児童が参加しています。

年間8回の授業では、米や野菜の栽培、地元食材を使った調理、J A愛知東産地直売所での販売体験を実施します。

授業の運営には、10名ほどの保護者に応援をお願いしており、親子で参加することで、子どもたちに加え、保護者の「食への関心」を高めることにもつながっています。

J A愛知東 2025「こども農学校」カリキュラム		
回	月日	主な内容
第1回	4月20日	開校式、八名丸里芋など植え付け
第2回	5月10日	四谷千枚田の田植え
第3回	6月7日	こども農学校の森の植樹、千枚田観察
第4回	8月2日	J A本店での夏祭り
第5回	9月27日	千枚田の稲刈り、ハザ掛け、おにぎり作り
第6回	10月11日	野菜収穫、千枚田での脱穀体験、弁当作り
第7回	11月8日	野菜・米の販売体験、千枚田のおにぎり
第8回	12月13日	修了式、1年間のふり返し、しめ縄作り



田植え体験（四谷千枚田）



修了式（J A愛知東組合長より）